



流行性角結膜炎は、アデノウイルスによって起きる感染症で、感染力が強く、昔から「はやり目」と呼ばれています。潜伏期間は約一週間、十日で、目の充血や、痛みなどの症状が出ます。最初は片目になり、その後、反対の目にも症状が出る場合があります。キットでウイルスの有無を調べるなどして診断し、感染力がなくなるまで、

⑥1 流行性角結膜炎(眼科)

ウイルスの有無を診断するキット＝名古屋市中区の中日病院で



会社や学校への出勤・登校は停止となります。ウイルスに対する特效薬

薬はありませんが、細菌による二次感染を抑える抗菌剤や、炎症を抑える目薬を二週間ほど投与する対症療法をとることになります。二週間前後で症状が改善することがほとんどですが、まれに炎症が強い場合は黒目の表面ににじりが残ることがあります。

夏に流行することが多いので、これからの季節は注意が必要です。目をこすったり触ったりした・談）

中日病院 名古屋市中区丸の内3の12の3。☎中日病院 052(961)2491



感染防止、出勤や登校停止